

平成から令和に変わった第37回はカメラの聖地で写真の歴史を語る2つのイベントを実施、満員御礼の32名がこの日限りの貴重な写真鑑賞と学芸員の説明を聴く事ができました。

第一部講演では10年前に行った旧官営製鐵所（八幡）時代の古銀塩乾板のデジタル現像作業の紹介と残された課題について学会としての報告会を実施しました。参加者からは学会ならではの化学、光学、修復などの技術質問が相次ぎました。学会が絡むその他の古写真、乾板群含めて改めて検討すべきでは？など活発な意見も出ていました。

第二部では平成時代のカメラの変遷をカメラ博物館 学芸員直々の特別解説付見学でした。初めてのデジタルカメラ（マビカ）登場から1億画素超えのGSX100（FUJIFILM）に到るまでこの30年間でカメラは大きな変革をとげたのです。

（文責：広報委員 岩本康平）



10年前に行った乾板調査の報告

第一部は2008年～2009年に行った旧官営製鐵所の乾板の調査および画像データ化についての10年ぶりの報告講演です、現在乾板を保管されている日本製鐵株式会社八幡製鐵所と調査復元を行ったセイコーエプソン株式会社の許可のもと行っています。詳細な講演内容ならびに復元画像自身は講演会のみでの公開となっていますのでここでは抜粋報告のみとします。

乾板（実に5,312枚）は今は建物自体が世界遺産である旧製鐵工場の史料室に大事に保管されていました。これほど大量の乾板をまとめて丁寧に保管した例

は世界中でも数少ないと思われる。ただ丁寧に保管されたいとはいえ、100年を超える年月は乾板に劣化を与えていました。触れば乳剤が欠損、白化して画像が全く見えなくなっているものも少なくはありませんでした。

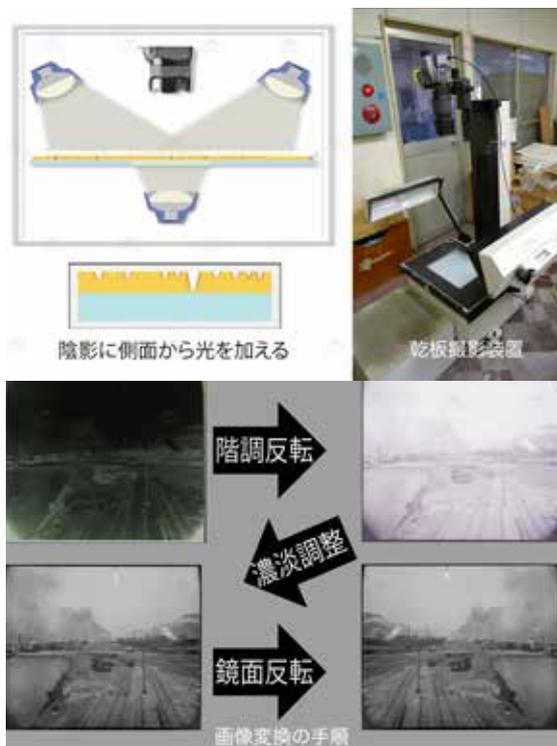
乾板にダメージを与えないデジタル現像方法を新たに確立

乾板にできるだけダメージを与えない、乾板を史料室から持ち出さないという条件で新たなデジタル現像（しかもできるだけ高解像度）をする方法を新たに考え出す必要がありました。

従来の接触型スキャナーや赤外線、X線などの大型機器は使えない中で、当時の学会メンバーと相談して専用装置（3方向からの光源、医療機器を転用した原稿台、5000万画素の中判カメラにマクロレンズを仕込んだもの）を組み合わせて現場に持込みました。この装置により無事乾板はデータ化できました。

参加者の方からは当時の光源、カメラ、レンズ、デジタル技術での努力を認めながらも、もっと突っ込んだ分析をすべきだったという多数の御意見をいただきました。

そもそも学会として乾板や古写真をいろいろな専門分野から総合的に分析、復元などの研究していくべきでは？という貴重な意見も頂きました。





億画素クラスの精細な画像・貴重な当時の風景が『復活』

復元した写真の一部をスライドショーとして講演会限定で紹介しました。

数億画素に相当する画像データのその精細さ、さらには誰もが知っている歴史上の人物、幻の機関車、当時の工業技術の証拠、そして卓越した撮影技術、構図取りなど、1枚1枚に皆さんは相当驚かれたようです。

(同じ講演会を西エリアでもやってほしい・・・と言う要望が出ています。ただいま検討中です。)

現在の技術ならさらにできるはず・・・

今回は学会のフィルム開発、画像保存、画像修復等の各専門家に参加頂き、様々な貴重な意見をいただきました。

特に10年前と今では技術環境も大きく進化しているとの観点でいろいろな提案をいただきました。

- ・今ならさらに詳細で精密な画像分析が可能
- ・最新の最適な保存方法を提案可能
- ・乾板自体の分析提案
- ・その当時のカメラと撮影技法の解明

皆さんの研究興味を大きく掻き立てる講演になったようです。

今後学会でこの内容含め乾板や古写真については検討していく予定です。



平成30年間のカメラの変遷

第二部はJCIビル内カメラの殿堂であるカメラ博物館の鑑賞会でした。学会特典としてカメラ博物館 学芸員直々の特別解説で平成を彩ったカメラを年代別に紹介いただきました。

考えてみるとデジタルカメラが始まったのも携帯電話のカメラが普及したのも平成時代だったのですね。

場所はJCIビルの地下です。写真展も行われています。

写真に携わる皆様ですが一度初心にかえって訪れてみてください。



最後に、この講演を行うにあたり日本製鉄株式会社八幡製鉄所様ならびにセイコーエプソン株式会社様に多大なるご協力をいただきました事を厚くお礼申し上げます。

申に含まれる文、写真は日本写真学会、日本製鉄株式会社、カメラ博物館に属します。

「古銀塩乾板の復元（旧官営製鐵所・八幡）」講演について

1	大変興味深い講演有難うございました。写し込まれていた画像の歴史的価値はとてつもないほど貴重なものですが、それに加えて復元作業の技術の高さにも驚きました。 更に当時の写真技術についてさらに知りたくなり、今後の研究の発展を期待しております。
2	大変に内容も濃く良かった！！門外不出の写真が鑑賞でき、大変貴重な機会だった。
3	銀塩乾板情報の復元に工夫が凝らされて、その結果数々の有用な、貴重な情報が得られた経緯は興味深かった。取り出した執念は素晴らしいし、取り出される情報は秘めていた乳剤の包容力にあらためて驚いた。
4	素晴らしい！現物を見たいです。機会を作ってくれと嬉しい。
5	写真の復元技術だけでなく、記録の大切さや歴史的な重要性、また時を超えたロマンまでお話して頂き、とても素晴らしい講演でした。是非今後も引き続きご講演をお願い致します。
6	四つ切乾板の凄さが良くわかりました。
7	大変興味深く、聞かせて貰いました。
8	具体的で、とても参考になりました。
9	写真の長期保存技術について、とても興味深く思いました。
10	初めてこのような貴重なものが見れて大変良かった。
11	丁寧なお話ありがとうございました。写真化学が専門分野である当方にとっては様々な感想を持ちました。いずれ詳しく聞きたい。
12	非常に興味深いお話有難うございました。劣化した原画像からの修復について、もう少し詳しく知りたいです。
13	銀塩乾板の資料性の再認識が出来ました。
14	とても興味深いお話でした。ありがとうございました。
15	大変興味深く聴かせて頂きました。有難うございました。
16	めったに聞けない非常に貴重なお話と写真を見せて頂き、有難うございました。

日本カメラ博物館特別展「平成のカメラ展」鑑賞

1	令和の時代となった今、平成のカメラを振り返る素晴らしい企画展でありました。銀塩フィルムからデジタルに移行する歴史が浮く彫りになって面白かったです。
2	素晴らしい展示でした。平成のデジタル進化をあらためて知る事が出来ました。
3	アナログからデジタルへの流れが良くわかった。デジタルカメラの技術説明などあっても良いのではないかな？
4	平成の30年余年のでの大きな変化が実観出来ました。
5	カメラの変遷が分かりやすい、良い展示でした。
6	現行製品を良く知っている物ばかりで、懐かしく興味を持って見せて頂きました。
7	フリーで見れて良かった。
8	面白かったです。

中に含まれる文、写真は日本写真学会、日本製鉄株式会社、カメラ博物館に属します。